

米海軍横須賀基地のPFOS（パーフォス）等に係る
国からの説明（第9報）について

1. 日 時 令和6年（2024年）1月18日（木）11:00～11:20
2. 来 訪 者 防衛省地方協力局環境政策課 田實課長
防衛省南関東防衛局 関企画部長
3. 対 応 者 市長室 中野市長特命参与
市長室 国際交流・基地政策課 小池課長

4. 国からの説明概要

横須賀海軍施設に設置した粒状活性炭フィルターが稼働停止した旨のご報告を先月させていただいたが、その際、市長からご要請いただいた、（1）粒状活性炭フィルター通過前後の水のサンプリング分析結果に係る米側との調整状況について、及び（2）横須賀海軍施設の周辺海域でのサンプリング調査の分析結果について、本日まで説明に伺った。

（1）粒状活性炭フィルター通過前後の水のサンプリング分析結果に係る米側との調整状況について

○防衛省

- ・先日、市長より要請のあった、粒状活性炭フィルター通過前後の水のサンプリング分析結果について、改めて米側に提供を求めたが、米側からは前回市長にご説明した「PFOSの値は安定している」以上の回答は得られなかった。

●市 側

- ・国は、米側とは誰とどのようなレベルで、どのような調整をしているのか。
- ・今の状況について米側は何と言っているのか。現在の状況について分かるように詳細に説明していただきたい。

○防衛省

- ・日米間の調整の細部についてお伝えすることはできないが、在日米軍司令部に対し防衛本省から調整を行っているところである。
- ・南関東防衛局長が訪問した際の市長からのご懸念のお言葉も、私から在日米軍司令部に伝えており、市民の安全・安心の確保のため、サンプリング分析結果の情報提供を求めている。

●市 側

- ・原因究明もできていない、サンプリングの分析結果の公表もない、そのような状況下にも関わらず粒状活性炭フィルターの稼働を停止したとなれば多くの市民が不安に思う。
- ・市民の安全・安心のためにも、サンプリングの分析結果について再度米側と調整してほしい。

○防衛省

- ・サンプリングの分析結果の数値については、引き続き在日米軍司令部に求めてまいる。

●市 側

- ・それでも分析結果を出せないということであれば、米側の3条管理権により米海軍横須賀基地への立入りを認めてもらい、市独自でサンプリングが実施できるよう、米側と調整してほしい。

○防衛省

- ・3条管理権による立入り、市独自のサンプリングの実施については、その可能性について模索する。

(2) 横須賀海軍施設の周辺海域でのサンプリング調査の分析結果について

別紙2「横須賀海軍施設のPFOS等を含む排水に関する周辺海域の分析結果について」のとおり、昨年12月22日に南関東防衛局が実施した周辺海域の3地点におけるサンプリングの分析結果はいずれもPFOSとPFOAの合算値で0.7ng/Lであり、水環境中の暫定指針値を下回っていた。

以上

横須賀海軍施設のPFOS等を含む排水に関する周辺海域の分析結果について
(5回目・令和5年12月22日採取)

1. 分析結果

南関東防衛局が実施した周辺海域の海水の分析結果 (令和5年12月22日採取)

① 今回分析結果

(単位: ng/L)

調査地点	PFOS	PFOA	合計
周辺海域①	0.2	0.4	0.7
周辺海域②	0.3	0.4	0.7
周辺海域③	0.3	0.3	0.7

※1 数値は端数処理の関係で整合しない場合がある。

- 2 水環境中の指針値(暫定)は、PFOS及びPFOAの合算値で50ng/L
 なお、指針値(暫定)は、人が生涯にわたり連続的な摂取をしても健康に影響が生じない水準をもとに安全性を十分考慮して、環境省において設定したものである。

② 分析結果の推移(PFOS+PFOA)

(単位: ng/L)

採水日 調査地点	1回目 (R4.6.30.)	2回目 (R4.9.30.)	3回目 (R4.12.15.)	4回目 (R5.3.20.)	5回目 (今回)
周辺海域①	1.7	2.5	3.6	3.8	0.7
周辺海域②	1.8	3.0	2.7	3.4	0.7
周辺海域③	1.6	3.0	2.4	2.9	0.7

2. 採水位置図

